

令和2年度後援会アンケート実施結果について

令和2年10月 長野県看護大学後援会

- 1 実施時期 令和2年8月3日～8月14日
- 2 実施方法 アンケートを全後援会会員に郵送し、Googleフォーム・FAX・郵送で回答するよう求めた。
- 3 アンケート項目
 - 大学での生活に関すること
 - 授業に関すること
 - 寄宿舍に関すること(1年生保護者のみ)
 - 学生には心配事や生活上での困り事があるか
 - 保護者の立場から心配事などはあるか
 - 後援会として支援をするとしたらどのようなことができると思うか
 - その他(自由記載)

- 4 回答状況 回答者数:128人(回答率:37.0%)

(内訳)

学年	会員数(人)	回答方法(人)			計(人)	回答率(%)
		Google	FAX	郵送		
1	85	25	9	8	42	49.4
2	84	18	5	1	24	28.6
3	85	20	9	5	34	40.0
4 過年度生含	92	21	5	2	28	30.4
合計	346	84	28	16	128	37.0
方法別 回答率(%)		65.6	21.9	12.5		

(自由記載欄の記入状況)

項目	回答人数	記入数	記入率(%)
大学での生活に関すること	128	26	20.3
授業に関すること	128	36	28.1
寄宿舍に関すること(1年生保護者のみ)	42	20	47.6
学生には心配事や生活上での困り事があるか	128	59	46.1
保護者の立場から心配事などはあるか	128	85	66.4
後援会として支援をするとしたらどのようなことができると思うか	128	45	35.2
その他(自由記載)	128	29	22.7

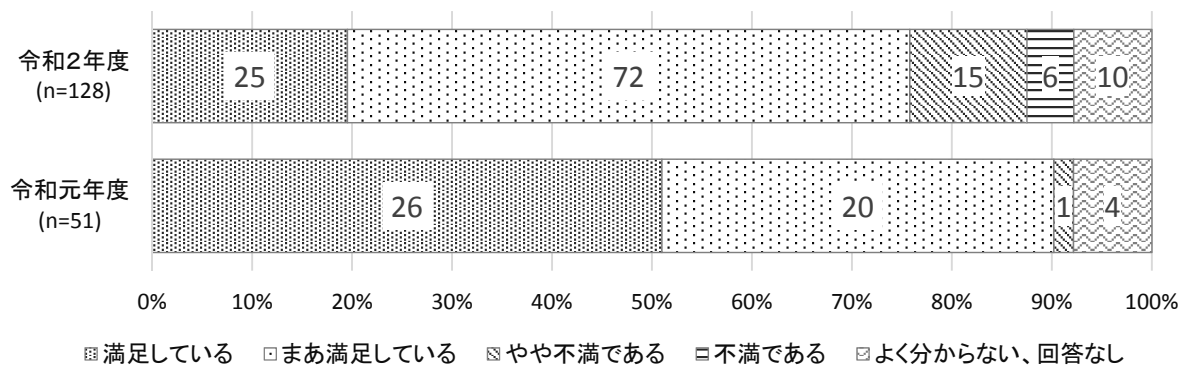
5 結果の概要

(1) 学習環境等に関する満足度

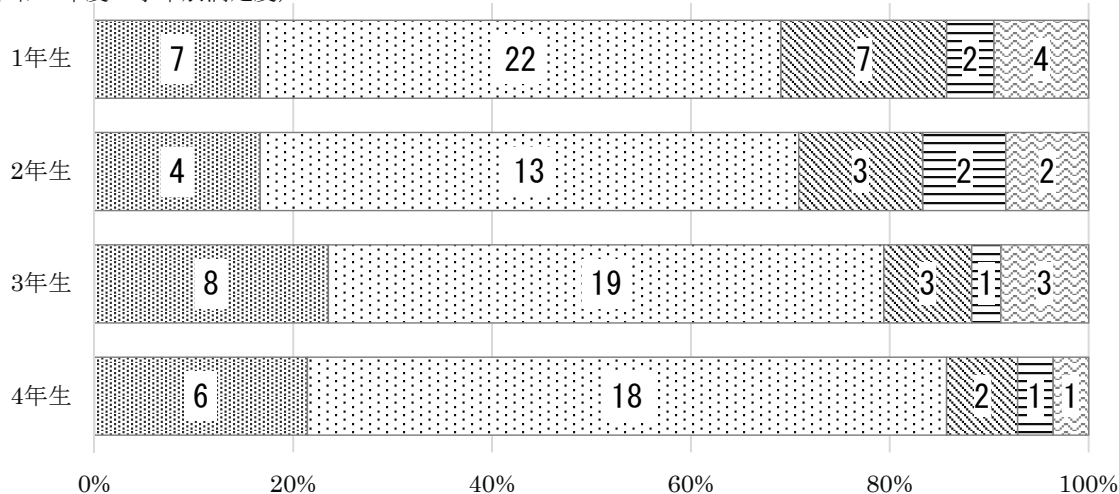
ア 大学生活に関すること

令和元年度のアンケート結果と比較すると、「満足している」と回答した者の割合が31.5ポイント減少した。自由記述の内容から、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、通常の（期待した）学生生活が送れていないことがうかがえる。

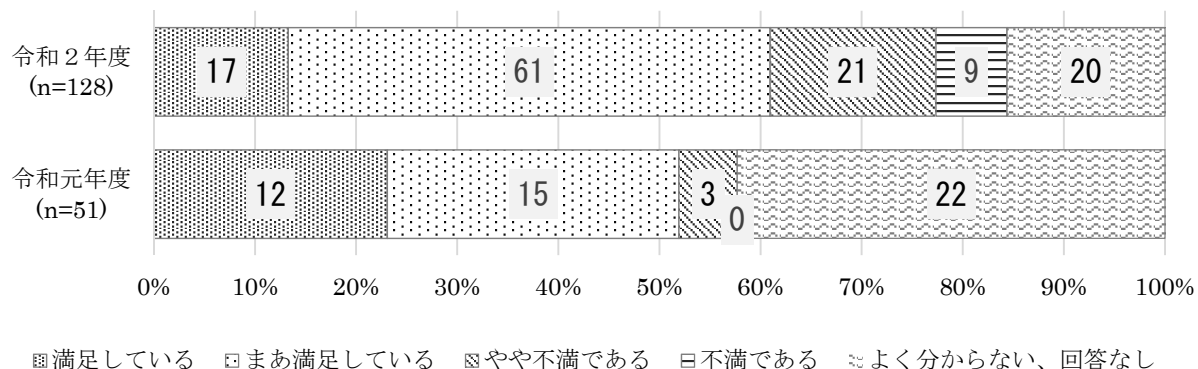
なお、学年が進むにつれて「満足している」「まあ満足している」と回答した者の割合が増加しているが、いずれも昨年度（すべての計）の数値を下回る結果となっている。



(令和2年度 学年別満足度)



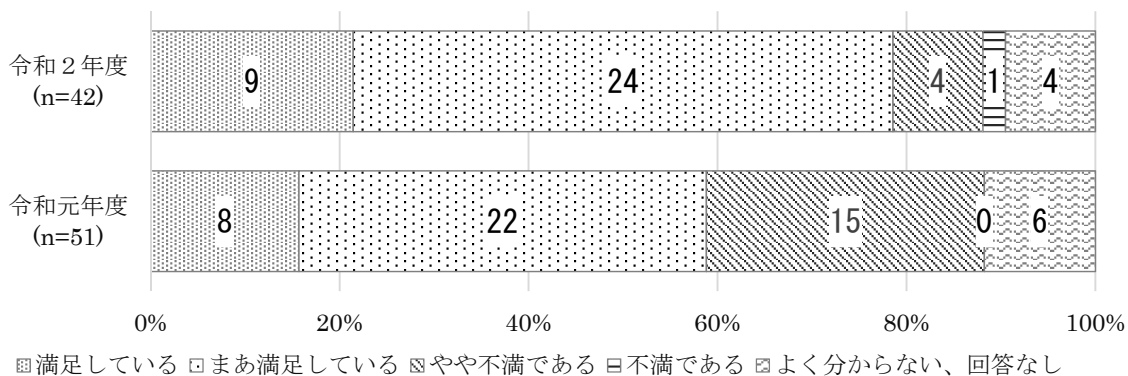
イ 授業に関すること



ウ 寄宿舎に関すること（この質問は1年生の保護者の皆様に回答をお願いしました。）

令和元年度のアンケート結果と比較すると、「満足している」「まあ満足している」と回答した者の割合が、それぞれ、5.7ポイント、14.0ポイント増加した。

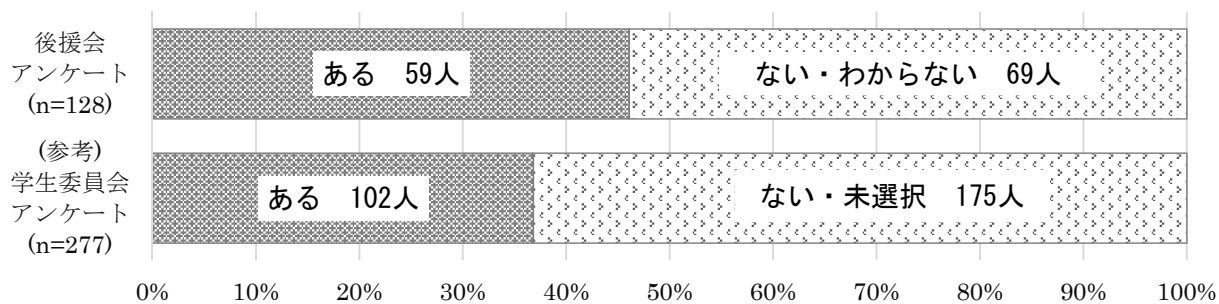
過去のアンケートで改善要望のあったコンロ、換気扇等について令和元年度に改修を行ったことから、同項目への意見はなかったが、引き続きエアコン設置等の要望が寄せられている。



(2) 新型コロナウイルス感染症対策下での心配事、困り事について

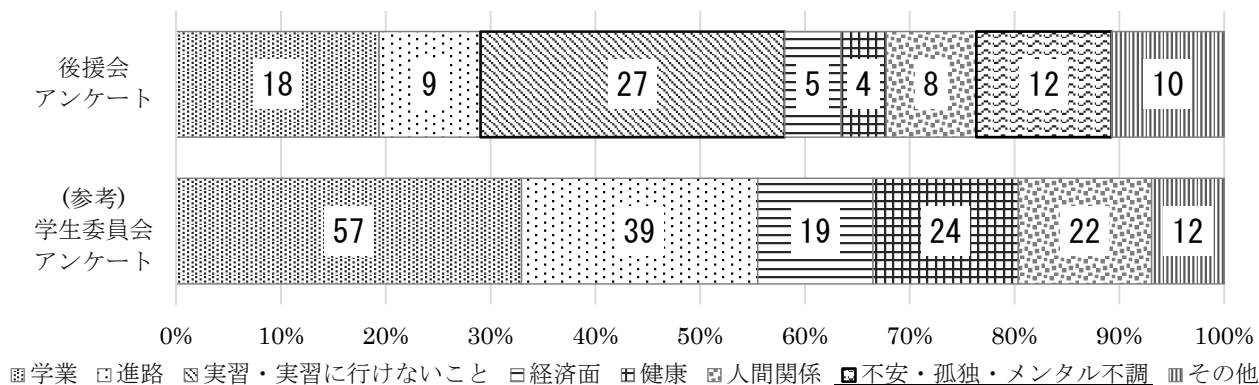
ア 学生（お子様）には心配事や困り事があるようですか。

学生委員会（教授会のもとに設置されている委員会の一つ）が令和元年7月27日を締切として全学生を対象に実施した「新型コロナウイルス感染症対策状況下学生における生活に関するアンケート」結果と後援会アンケート結果を対比してグラフ化した。



後援会アンケートでは、次のグラフのとおり、実習ができないことを懸念する声、孤独・不安を心配する声が目立った。

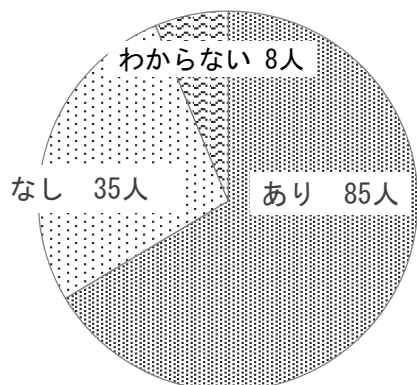
(回答総数に占める各項目の割合)



※1 学生委員会アンケートは、学業、進路、経済問題、健康問題、人間関係、その他の6分類である。

※2 複数回答。

イ 保護者の立場から心配事などはありますか。

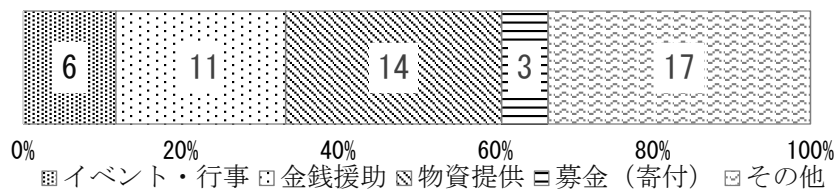
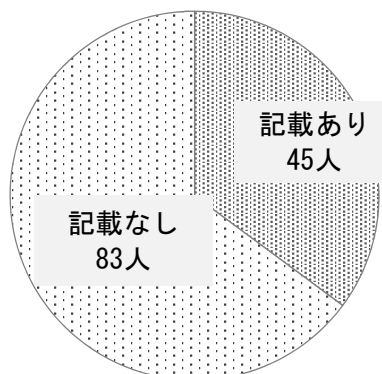


保護者の立場から心配事などがあると回答者した者の割合は、66.4%であった。

主な内容は、以下のとおり。

【交流】引きこもりになりがち、交流がない等	16.3%
【学習・実習】学力が身につくのか心配、実習なしで臨床の場に出てやっていけるのか心配等	60.9%
【健康】視力の低下、暑さによる体調不良、メンタル等	13.0%
【移動】帰省してよいのか、駒ヶ根へ訪問してよいのか等	7.6%

ウ 後援会として支援をするとしたら、どのようなことができますか。



どのような支援ができるか尋ねたところ、手指消毒薬、マスクなどの配布金銭支援、中止になった行事の代替イベントへの支援など、様々な意見が寄せられた。

6 アンケートを受けての対応

このアンケート結果について、第2回後援会役員会で、北山学長・事務局職員と意見交換を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症に対する心配の声が多く寄せられ、後援会として何かできることはないか、を検討するとともに、大学に対し、環境改善についての検討を要望致しました。また、後援会の対応として、学生ホール・サークル活動使用施設の消毒消耗品の設置及び、大学生協食堂テーブルへのパーテーションの設置を行いました。



(令和2年11月実施)



(令和2年7月～実施)

7 大学の対応及び見解

本アンケート結果に対し大学から以下のとおり説明がありました。

長野県看護大学後援会による保護者アンケートでは、保護者の皆さまから貴重なご意見を頂戴し、ありがとうございます。

本学では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と学生の学修機会の確保とを両立する観点から、本年度当初より、様々な取り組みを行ってきたところです。

学内で実施した学生アンケート及び本保護者アンケートを通じて寄せられた様々なご意見に耳を傾け、決して誰一人取り残さない(No one will be left behind)ための対応に努めてまいります。

学長 北山秋雄

1 教育の質の確保について

新型コロナウイルス感染症への対策を徹底して講じつつ、学生の学修機会を確保するため、本学ではいち早くオンライン授業を取り入れました。

オンライン授業につきましては、試行錯誤しながらの取組となっておりますが、当該授業が対面授業に相当する教育効果を有するものとなるよう、これまで以上に学生一人ひとりの学修状況を適切に把握して指導につなげるとともに、授業方法の改善に取り組んでまいります。

なお、後学期は、長野県の感染警戒レベルに応じて可能な限り対面授業を併用する予定としております。

2 臨地実習について

本年度は、看護学教育では必修とされる臨地実習も計画通りに実施できない状況が生じております。

本学では、各実習科目の目標を学内で達成できるように、事例を用いた教材やシミュレーション教材を用いる等、教育方法を工夫して教育を実施しております。

国家試験受験資格に関わる学習は確実に実施しておりますので、保護者の皆さまにはご安心くださるようお願いいたします。

なお、学内での実習をより実践に近い形で行うため、以下のような環境整備を行いました。

- 基礎看護実習室の医療ベッドを最新のものに更新

- 患者の症例を再現する等身大モデル（フィジカルアセスメントモデル Physiko）の購入（合計2体となります。）

 - ※ 等身大のモデルが12人の患者の症例を再現し、実際の患者さんを診るように臨床現場を想定して学ぶことができます。

- 全身清拭のための小児モデル（「タケシくん」）の購入

 - ※ 愛情を込めて本当の子どもを扱っているような看護実習が可能となります。

また、臨地実習が十分にできなかったことに多くの4年生が不安を抱えている状況を踏まえ、卒業生の受入先となる医療機関等には、最初で躓かないよう特段のご配慮をお願いしたい旨を伝えてまいりたいと考えております。

3 交流機会の設置及びメンタルヘルスへの配慮について

大学における学びにおいては、学生と教職員等とのコミュニケーションや学生同士の交流も重要な要素であるものと考えております。

学生や保護者の皆さまからのご意見を踏まえ、本学学生委員会（教授会の組織）の企画により以下の事業を実施いたしました。

○しゃべり場の実施 1年生：10/5・9、10/10・17 2年生：10/5
3年生：10/5 4年生：10/5

また、学生のメンタルヘルス等の相談対応については、これまでも万全を期してまいりましたが、今般の情勢も踏まえ、より学生から相談しやすい体制を構築するとともに、学生生活に悩みや不安を抱えた学生の把握に努めるよう教授会で徹底を図りました。

これからも学生が安心して大学等における学びに打ち込めるよう、学生生活への配慮をしてまいります。

4 付属図書館をはじめとする学内施設の利用について

図書館や情報処理教室等の学内施設については、感染対策のため、同時に利用することができる人数や利用時間を制限しながら開放するなど、学生のニーズに合わせた対応を行っております。

これらの学内施設につきましては、地域の感染状況や、利用希望等を踏まえながら、感染対策を講じた上でできる限り学生の利用に供するための工夫に努めてまいります。

5 寄宿舍の整備について

寄宿舍の環境改善につきましては、かねてより学生及び保護者の皆さまから数多くの要望が寄せられておりました。

外出の自粛やオンライン授業のため寄宿舍内で過ごす時間が大幅に増えたことを踏まえ、全寮室にエアコンを設置することといたしました。（1月末設置完了予定）

また、本年度は、A棟の屋根及び壁の修理を行います。（3月末完了予定）

上記のほか、日本学生支援機構からの支援を受け、学部生全員に、大学生協食堂の買物券を配布する取組も行いました。

保護者の皆さまにおかれましては、今後とも本学教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、時節柄、ご自愛のほどお願い申し上げます。